

<最終目標> 歴史的思考力を育て、過去との対話を通じて未来を創る主体性を身につける

1	今年度の達成目標	史料読解能力と歴史的思考力を身につける	担当教師
2	地理歴史科の指導戦略 <授業の指導戦略>	<p>(1) 思考する学習の展開・・・「覚える」のではなく「考える」活動を重視した授業を展開します。</p> <p>(2) 史料読解力の育成・・・多くの史料を読むことで、事実在即した思考力を身につけます。</p> <p>(3) 事実に基づく歴史観の形成 事実在即し、論理的な意見を組み立て発信する力を育てます。</p> <p>(4) 学び合いの重視・・・生徒同士の学び合いを重視した授業を展開します。</p>	
3	指導教科書	日本史A 現代からの歴史（東京書籍）	
4	補助教材		
5	評価・評定の方法	<p>(1) 日頃の観察や小テストなどで「15点/15%換算」します。</p> <p>(2) 定期考査で「100点満点/85%換算」します。</p> <p>(3) 評価の観点（4項目）</p> <ul style="list-style-type: none"> * 社会的事象への関心・意欲・態度 * 社会的な思考・判断・表現 * 資料活用の技能 * 社会的事象についての知識・理解 	

《生徒諸君へ》

- (1) 「家庭学習」・・・宿題、予習、復習を必ず行い、ノートを毎日提出させてください。
- (2) 「持ち物」・・・教科書、ノート、資料集、ファイル、辞書（電子辞書可）を持参させてください。

地理歴史科指導計画

	教科行事	日本史 A	内容	達成目標(Can-Do)
4月		①日清戦争と国際関係 ②日清戦争後の政治と社会 ③産業革命の時代	日清戦争を中心に 19 世紀後半の東アジア状況について考える。	○ 日清戦争が起こった原因を東アジア情勢から説明できる。 ○ 日清戦争前後の産業革命の状況について概観する。
5月	中間考査	①近代文化の諸相 ②北清事変と日英同盟 ③日露戦争と人々の生活	日露戦争を中心に 20 世紀初頭の国際情勢を東アジアを中心に考える。	○ 中国東北部の情勢から日露戦争が起こった原因について説明することができる。 ○ 日露戦争時の人々の様子について考察することができる。 ○ 考査で70点をとることができる。
6月		①韓国併合と東アジア ②資本主義の発展 ③桂園時代と社会運動	日本は、海外でどのような支配体制を築いてきたのかを考える。	○ 朝鮮半島の植民地化にはどのような問題が含まれるのかを当時の社会情勢から考えることができる。
7月	期末考査	①第一次世界大戦と中国侵略 ②パリ講和会議と東アジアの独立運動 ③大戦景気と社会運動	第一次世界大戦が世界各地に与えた影響について考察する。	○ 第一次世界大戦について日本はどのように関わりを持ったかを説明することができる。 ○ 第一次世界大戦の反省から世界がどのような動きをとるのか概観する。 ○ 考査で70点をとることができる。
8月				
9月		①民衆運動の広がり ②帝国日本と移動する人々 ③政党政治	大正デモクラシーがどのように広がり、どのような矛盾点があったかを考察する。	○ 大正期の政治情勢から民衆運動の広がりを概観し、その限界点を指摘することができる。
10月		①関東大震災と強まる思想統制 ②ワシントン体制 ③大正デモクラシーの思想と文化	ワシントン体制下で、日本はどのような外交を行ってきたのかを考察する。	○ ワシントン体制が昭和初期の政治や外交、経済についてどのような影響を与えたのかを予測し、説明することができる。
11月		①社会不安と昭和恐慌 ②軍部の台頭 ③思想統制の強化と二・二六事件	昭和恐慌などの社会不安のなかで、政治と外交はどのように展開していったかを考察する。	○ なぜ、民衆が軍部の台頭を受け入れたのかを昭和前半の状況から説明することができる。
12月	中間考査Ⅱ	①日中全面戦争 ②戦時統制と国民生活 ③第二次世界大戦の開始 ④「大東亜共栄圏」の実態	15 年戦争の展開と戦争が長期化する理由について考察する。	○ 15 年戦争は社会にどのような空気をもたらし、思想や文化にどのような影響を与えたのかを説明できる。 ○ 考査で70点をとることができる。
1月		①敗戦と占領 ②大戦後の世界と冷戦の始まり ③アジア諸国の独立と日本 ④戦後改革	GHQ の占領政策について、国際関係とともに考察する。	○ 国際状況の変化とともに GHQ の占領政策がどのように変化し、日本の独立にどのような影響を与えたかを説明することができる。 ○ 授業を生徒主体で行い、わかりやすく工夫した授業を行うことができる。
2月		①日本国憲法と地方自治体 ②朝鮮戦争と日本の独立 ③55 年体制と国内の分岐 ④多極化する世界と日米関係の強化	55 年体制の確立とその後の政治展開を世界情勢とともに概観する。	○ 戦後世界の動向を学ぶことで、今後の世界の動きにはたすことができる自分の役割について考えることができる。 ○ 授業を生徒主体で行い、わかりやすく工夫した授業を行うことができる。
3月	期末考査	①経済成長のひずみ ②冷戦後の世界と日本 ③55 年体制の崩壊	冷戦後に起こった民族問題・地域紛争について学習し、「平和」について考える。	○ 冷戦後の動向を学ぶことで、今後の世界の動きにはたすことができる自分の役割について考えることができる。 ○ 授業を生徒主体で行い、わかりやすく工夫した授業を行うことができる。 ○ 考査で70点をとることができる。